



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アドバンスト・メディア
コード番号 3773 URL <http://www.advanced-media.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 清幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 立松 克己

TEL 03-5958-1031

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,305	35.9	△425	—	△289	—	△102	—
27年3月期第3四半期	960	12.4	△616	—	△320	—	△324	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △323百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △242百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△6.42	—
27年3月期第3四半期	△20.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	6,052	4,925	80.5
27年3月期	6,552	5,249	79.3

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 4,873百万円 27年3月期 5,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	20.7	△300	—	△140	—	△150	—	△9.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	15,929,405 株	27年3月期	15,929,405 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	75 株	27年3月期	75 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	15,929,405 株	27年3月期3Q	15,927,289 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは事業拡大の取り組みとして、「既存コアドメインのさらなる成長」を第一の成長エンジン、「新規ビジネス・M&A・海外事業」を第二の成長エンジンと位置付けております。これら二つの成長エンジンの駆動で、今後の売上高の飛躍的な増大を実現してまいります。

そのような中、売上高に関しましては、CTI事業部のコールセンター向け製品販売および医療事業部のパッケージ販売において、両事業部ともに売上高が前年同期比約150%を達成し、大幅に伸張いたしました。またクラウド事業部の受託開発およびサービス導入がほぼ当初計画通りに進捗いたしました。損益に関しましては、当初外注を予定していた開発を内製化したことにより売上原価が低減され、粗利益率が当初計画より向上するとともに、人員の増員配置計画の見直しや効率的に研究開発活動を行ったことなどにより販管費を抑え、営業損失は当初計画より赤字幅が縮小いたしました。経常損失は第2四半期までに当社が保有する外国債券の一部が満期償還され、営業外収益が計上されたことなどにより、損失額を大幅に縮小いたしました。また親会社株主に帰属する四半期純損失も第2四半期までに当社が保有する満期償還前の外国債券の全部を売却し、特別利益が発生したことなどにより、当初計画に対して損失額が大幅に減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,305百万円（前年同四半期は売上高960百万円）、営業損失は425百万円（前年同四半期は営業損失616百万円）、経常損失は289百万円（前年同四半期は経常損失320百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は102百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失324百万円）となりました。

事業部を含む各プロフィットユニットの活動状況は、以下のとおりであります。

① CTI事業部

コールセンター向けシステムソリューションの拡販を推し進めた結果、新規顧客の獲得が増加するとともに、既存顧客の追加採用により利用者数/ライセンス数が前年同期比で大幅に伸長いたしました。また他社のクラウド型コールセンターシステムとの連携や、人工知能を活用した次世代の音声対話システム（AmiAgent）の導入を促進することができました。

② クラウド事業部

法人向け・コンシューマー向けクラウド型音声認識サービスプラットフォームの利用拡大のための開発支援環境の提供、受託開発、当社独自のクラウドサービスAmiVoice® iVoX KIZUKIなどの市場導入を進めるとともに、今夏発売を開始したウェアラブルデバイス（AmiVoice® Front WT01）を活用した工場におけるハンズフリー音声入力サービスの導入促進や、ボイスピッキングシステム（AmiVoice® iPicking）の拡販を行いました。

③ 医療事業部

調剤薬局向けパッケージ製品 ※ が社会問題化した薬剤服用歴（薬歴）未記入問題の有力な解決手段と認知され、販売が極めて高水準に推移しました。また放射線科向けパッケージ製品や介護・福祉向け製品の販売についても堅調に推移いたしました。さらにクラウド型医療・介護向け音声入力システムが大手介護事業者に採用されました。

※ 調剤薬局向けパッケージ製品は、薬剤師が行う調剤や服薬指導の内容を声により効率的に記録するものです。

④ VoXT事業部

自治体に向けて議事録作成支援システムの拡販を行うとともに、民間企業に向けても同システムを販売いたしました。また前期に本格サービスを開始したクラウド型文字起こしサービス「VoXT（ボクスト）※」の市場導入活動によってユーザー数と利用時間を徐々に伸ばしております。

※「VoXT（ボクスト）」とは、音声認識を活用したクラウド型文字起こしサービスです。

⑤ 単体その他のプロフィットユニット（第2の成長エンジン）

大阪に拠点を置くビジネス開発センターでは、労働力不足が深刻な建設業界の業務改善に資する音声認識を活用したボイス検査ソリューション「AmiVoice® スーパーインスペクター 建築仕上げ検査用」を開発し、製品発表会を開催するとともに、先行予約販売を開始いたしました。また海外事業ユニットでは、戦略的事業提携先である台湾コールセンターソリューション事業最大手Grandsys Inc. 経由で台湾の通信事業者から音声認識を活用した自動音声応答システムを受注するなどパートナー連携を強化し、中華圏におけるコールセンターシステムの導入促進を行いました。

⑥ 連結子会社（第2の成長エンジン）

連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD. はTrue Voice Company Limited（True Touch Company Limitedとの合弁企業）と連携してMariサービスの導入促進を行いました。既存ユーザーへのコールセンター向けシステムソリューション販売活動も順調に推移しました。また株式会社グラモは、電力自由化を見据えて今夏販売を開始した家電制御と電力見える化を実現する「iRemoUnit CT」の開発・プロモーション活動を積極的に推し進めました。さらに株式会社速記センターつくばは、自治体の議事録作成業務の受注量のアップと生産効率の向上を目指して活動を行いました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,723百万円となり、前連結会計年度末に比べ544百万円減少いたしました。これは受取手形及び売掛金の減少等によるものであります。固定資産は1,329百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加いたしました。

この結果、総資産は6,052百万円となり、前連結会計年度末に比べ500百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は318百万円となり、前連結会計年度末に比べ180百万円減少いたしました。固定負債は808百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、1,126百万円となり、前連結会計年度末に比べ176百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,925百万円となり、前連結会計年度末に比べ323百万円減少いたしました。これは四半期純損失102百万円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は80.5%（前連結会計年度末は79.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月9日付で公表した連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,535,776	4,044,766
受取手形及び売掛金	699,688	438,673
有価証券	902,852	-
商品及び製品	24,626	83,671
仕掛品	7,782	27,986
原材料及び貯蔵品	14,515	31,161
未収入金	9,464	9,925
その他	77,625	90,229
貸倒引当金	△4,521	△3,034
流動資産合計	5,267,809	4,723,379
固定資産		
有形固定資産		
建物	77,198	78,596
減価償却累計額	△36,504	△37,262
減損損失累計額	△32,807	△32,655
建物(純額)	7,886	8,678
その他	146,796	174,811
減価償却累計額	△88,951	△95,140
減損損失累計額	△14,838	△13,613
その他(純額)	43,006	66,058
有形固定資産合計	50,893	74,736
無形固定資産		
ソフトウェア	148,901	174,024
ソフトウェア仮勘定	13,085	41,938
のれん	104,994	83,290
その他	115	115
無形固定資産合計	267,097	299,368
投資その他の資産		
投資有価証券	430,714	422,095
敷金及び保証金	86,869	86,810
長期前払費用	399,855	368,268
その他	49,623	77,797
投資その他の資産合計	967,063	954,972
固定資産合計	1,285,054	1,329,077
資産合計	6,552,864	6,052,456

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	96,388	50,164
未払金	122,008	65,709
未払法人税等	15,197	11,266
前受金	99,974	136,374
繰延税金負債	108,144	-
その他	57,061	54,516
流動負債合計	498,774	318,031
固定負債		
社債	770,000	770,000
繰延税金負債	27,168	31,317
資産除去債務	7,279	7,378
固定負債合計	804,447	808,696
負債合計	1,303,222	1,126,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,973,097	4,973,097
資本剰余金	3,965,231	3,965,231
利益剰余金	△4,028,011	△4,130,322
自己株式	△102	△102
株主資本合計	4,910,215	4,807,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	275,415	65,521
為替換算調整勘定	11,807	99
その他の包括利益累計額合計	287,222	65,620
新株予約権	52,204	52,204
純資産合計	5,249,642	4,925,729
負債純資産合計	6,552,864	6,052,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	960,387	1,305,469
売上原価	348,099	481,766
売上総利益	612,287	823,703
販売費及び一般管理費	1,228,441	1,249,354
営業損失(△)	△616,153	△425,651
営業外収益		
受取利息	4,527	9,182
有価証券利息	9,001	9,827
為替差益	270,328	132,231
雑収入	9,927	646
営業外収益合計	293,785	151,888
営業外費用		
投資事業組合運用損	3,153	5,733
支払手数料	10,253	3,000
持分法による投資損失	-	6,819
雑損失	3	564
貸倒引当金繰入額	△15,531	-
営業外費用合計	△2,120	16,117
経常損失(△)	△320,247	△289,880
特別利益		
投資有価証券売却益	-	193,403
特別利益合計	-	193,403
税金等調整前四半期純損失(△)	△320,247	△96,477
法人税、住民税及び事業税	4,427	5,833
法人税等合計	4,427	5,833
四半期純損失(△)	△324,675	△102,311
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△324,675	△102,311

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△324,675	△102,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73,048	△209,893
為替換算調整勘定	9,507	△9,710
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△1,996
その他の包括利益合計	82,555	△221,601
四半期包括利益	△242,120	△323,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△242,120	△323,912

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。